

## 天狗岳山行報告書

山 域：八ヶ岳連峰

コース：渋の湯ー白駒池スノーハイクー天狗岳

日 時：2018年2月24日(土)～25日(日)

天 候：2月24日：はれのちくもり／25日：はれ⇒くもり⇒はれ

山行タイム：2月24日 渋ノ湯 10:35⇒賽の河原 11:55⇒高見石小屋 13:00⇒白駒池周辺スノーシューハイク  
⇒高見石小屋 15:20

2月25日 高見石小屋⇒高見石⇒高見石小屋 7:00⇒中山峠⇒天狗岳東・西 10:20  
⇒西尾根⇒唐沢鉱泉 12:30⇒渋辰野旅館 14:30

メンバー：CL 佐藤、SL 宮城、堀田、松本か(会計)、花島、岸野、斎藤健、江橋(記録)

### 【山行報告】

2月24日(土)

4時 St 車は佐倉を出発し談合坂 SA で Si 車と合流し朝食タイム。諏訪南 IC を下り唯一のコンビニファミマで行動食の買い出し。客が次々とやってくる。こういう場所のコンビニは意外に儲かりそうだ(?) トイレは渋滞中で無理そうだ。

御射鹿池(明治温泉入口)に駐車し、ゆ〜っくり準備をしながら 10:01 のバスを待つ。まだバスの時間には1時間近くある。駐車場には他に車はない。

バスがやや遅れてやってきたが、ほぼ満席状態。なんとか乗車することができたが、場合によっては乗車できないこともあるのでは?

10:35 トイレに寄り、アイゼンを装着後、スポーツクラブ通いで 5kg やせたという K さんを先頭に渋ノ湯を出発。橋を渡るといきなりの急な登り。K さんのペースは私には少し速いが、皆ついて行くので仕方なくペースを合わせる。しばらく行くと、コースの間違いに気づく。唐沢鉱泉黒百合ヒュッテ方向へ来てしまったようだ。もう少し先に復帰路があるようで戻らずにすんだ。しかし、稼いだ高度を下げる。しばらく林道歩きが続く。

賽の河原に出ると、強い風が吹いていて体温を奪われる。幸い後ろからの風で助かった。

再び樹林帯に入り風がなくなった。

13:00 高見石小屋到着。最低限の荷物を持ち、白駒池までスノーシューハイクに出発。Ht さんは膝の調子が悪いということで留守番をすることに。4人は持参したマイスノーシュー、私と Hn さん、My さんは、1000 円でレンタル。私は初スノーシュー、トレースがあるのであまりメリット分らず・・・ 白駒池は凍り付き雪が積もっている。皆少し心配しながら池上に侵入。大丈夫そう。20名ほどの団体がやってきた。氷厚はどのくらいあるのだろうか?

白駒池で記念撮影。スノーシューはバックができないのだ、当然に転ぶ。。。 My さんも転ぶ。。。強い風に雪が舞ってる。私と、Hn さんはトレースなき白駒池を縦断。池の端には、氷の薄そう



ところがあり、そこを巻いて無事対岸到着！  
この白駒池から10分ほど歩いたところまで、一般道が通っているようだ。その道の名は、Mtさんにピッタリの『メルヘン街道』いつか是非走ってみてね！

池の脇に建つ青苔荘（せいたいそう）で、それぞれそば、ラーメン、きのこ汁で体を温める。かわいい苔のキャラクターグッズを販売していた。



高見石小屋に戻る。高見石小屋は、ランプの宿ということで、たくさんのアルコールランプが並んでいた。部屋に入るとそこそこ賑わっているようだ。コタツで囲らしているグループがある。と思ったら留守番のHtさんが女性二人に囲まれて囲らしていた。さすが2枚目！

その小さなコタツに我々8名と先客2名で、持ってきたお酒とつまみで宴会開始。

夕食は17:45から。室内のトイレは、夕食後から朝食前までで小のみに限定。それ以外は、外のトイレに行かなくてはならないが、外のトイレまでの道のりは、サンダルでは滑る。。。トイレにスライディングしてしまいそうだ。・・・思った通り何人か犠牲になったようだ・・・

夕食後は、食堂で2次会を行い満足したところで就寝。

私は、3時に目覚め室内トイレに行ったが、屋根のサンルーフから星が見えていたので外に出てみた。ぼやけた星空で少し残念。

2月25日(日)

5時起床。5:50朝食の後、高見石へ向かう。高見石からは浅間山がきれいに見えた。天気は悪くないようだ。



7:00改めて高見石小屋出発、樹林帯を進む。中山を少し下った展望台ところから目指す東西の天狗岳が見える。再び樹林帯を進む。しばらく進むと急に開け急登が現れた。もう一踏ん張りだ。風が冷たい。しかし、なかなか到着しない。

10mほど上の転げ落ちてきそうな大きな岩の脇を抜け、東天狗岳山頂に到着、~~標識はない~~。



一応写真撮影し、西天狗岳へ向かう。東西間の鞍部からの登りは 100m ほどか、東岳の登りよりは楽なようだ。

西天狗岳山頂には、標識があり他のグループの方にお願ひし皆で、はいポーズ。曇り空だが、見晴らしはまずまず。八ヶ岳の山々が見渡せる。

下山開始。また樹林帯だ。私は下りでは靴擦れによる両足の小指の痛みには耐えながら歩く。前回の山行でも小指と踵の皮がむけた。今回は、踵にはテーピングしてきたが小指は皮が厚くなり大丈夫かと思っただが、甘かったようだ。

第2展望台、第1展望台と見晴台があったが、皆もう景色を十分堪能したと思っただのか立ち止まることもなく進む。私は、早く下りが終わることを願いつつ歩く。。

12:30 唐沢鉱泉到着。この季節は休業中だが、大きくて立派な宿だ。渋ノ湯からのバスは 14:55 で、かなり早く着いてしまいそうなので、渋ノ湯と駐車場の間地点である渋辰野温泉まで歩くことに。30分ほど登った後下る。山頂では曇っていた空が晴れてきた。Mtさんは、林の中でメルヘンを発見したようだ。

14:30 渋辰野温泉到着。靴下を脱ぐと両足の小指の皮は見事に剥けていた。Myさんにバンドエイドをもらい貼る。少し楽になった。Hnさんが後方に天狗岳を発見し記念撮影。しばらくすると、先に駐車場に向かったSiさんとStさんが車で迎えに来てくれた。感謝です。

無事山行を終え、入浴、食事の後帰葉。

～ 以上 ～

